



予算要望書を提出する党議員団

学校給食費・18歳まで医療費無料化、国保料引き下げなど 2023年度予算要望書を提出

「新型コロナ」第8波、物価高騰第2波が市民の暮らし・地域経済に深刻な影響を及ぼしています。党議員団は1月19日、市長に、2023年度予算に反映することを求めて予算要望書を提出しました。

■ 予算要望は、市・国・府・部局・地域など、計334項目にわたります。特に、重点で4つの緊急要望と3つの子育て負担ゼロを求めました。概要をお知らせします。

一、国民健康保険料を、一世帯あたり1万円引き下げ、医療と介護の負担を軽減すること。
二、学校給食を無償化し、学校徴収金の保護者軽減で、子育て支援を強化すること。
三、水道料金等公共料金を引き下げること。
四、住宅リフォーム助成制度をつくり、地域循環型の経済振興で市内中小業者を支援して地域経済の活性化を進めること。
五、子どもの医療費助成制度を高校卒業まで拡充して、子どもにかかる医療費負担をなくすこと。
六、国民健康保険料の18歳までの均等割りを減免し、子どものかかる保険料負担をなくすこと。

七、水道の広域化・民営化をやめ、府営水道の一方的値上げの撤回を求めること。流域下水道の値上げに反対すること。

八、消防の広域化・民営化に反対すること。京都府南部の消防指令統合に反対すること。

九、少人数加配による小中学校全学年で35人以下学級を実施すること。

十、温かくて美味しい中学校給食を親子方式で早期に実施すること。小学校給食の自校調理方式を堅持し、給食センターからの配送とはしないこと。

十一、すべての小学校中学校及び公共施設のトイレに生理用品を配備すること。

十二、公立幼稚園の統廃合計画を撤回し、3年保育を全園で実施すること。

十三、公民館廃止及び有料化計画は撤回し、公民館主事を配置し公民館活動の活性化を図ること。

十四、待機児解消のため、認可保育所の増設をはじめ公的保育を充実すること。

十五、市集会所の2割削減は撤回し、施設改修をすすめること。

十六、農地の保全・後継者育成・固定費助成など市内農業振興策を早急に策定すること。

十七、デマンドタクシー（予約制乗り合いタクシー）などで市民の移動手段を確保すること。

十八、民間企業に公の施設の管理運営を指定しないこと。

十九、国道24豪線沿いの新たな産業立地、天ヶ瀬ダム周辺の観光開発などの大型開発事業を見直すこと。

二十、「お茶と宇治のまち歴史公園」のSPCに対して、特別の財政支援など、これ以上の財政投入はやめること。

二十一、西小倉地域の小中一貫校は、子どもと保護者の声を聞いて整備をすすめ、ゆとりある教育環境を確保し、給食を小学校・中学校とも自校方式で提供すること。

※全文は団HPに掲載しています。

大軍拡・大增税ストップ！学校給食費・18歳まで医療費無料に

日本共産党
宇治市議員団
だより

2023・1・29日号
tel: 0774 - 22 - 3141
fax: 0774 - 24 - 7884



ご意見は
こちらに。